

年度	2011年度	開講部局	工学研究科博士課程前期	
講義コード	U0680201	科目区分	専門的教育科目	
授業科目名	Technology Transfer (MOT-E2)			
授業科目名 (フリガナ)				
英文授業科目名	Technology Transfer (MOT-E2)			
担当教員名	三枝 省三			
担当教員名 (フリガナ)	サエグサ ショウゾウ			
研究室の場所	産学連携センター VBL オフィス	内線番号	6841	
E-mailアドレス	shosaegu@hiroshima-u.ac.jp			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期	
曜日時限	集中	講義室		
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、ディスカッション、学生の発表	
単位	2	週時間		
対象学生	大学院生			
授業のキーワード	技術、技能、伝承、移転、習熟度、海外、ものづくり、世代、契約、企業、経済			
教職専門科目		教科専門科目		
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ	該当外			
到達度評価の評価項目				
授業の目標・概要等	技術移転には、世代間、国内外の企業間、大学から企業間などがある。本講義では、技術・技能の習熟度の観点から世代間技術移転、国内企業から海外企業への技術移転を学ぶ。日本企業において、世代間技術移転、海外への技術移転は、技術戦略上きわめて重要である。技術経営の観点から、技術移転は、技術戦略の中に位置づけられるが、講義を通じてこの技術移転の重要性を理解してもらえれば、従業の目標は達成されたことになる。			
授業計画	第1回 技術移転とは(ガイダンス及び総論) 第2回 技術移転総論 第3回 制御理論を応用したものづくり技術・技能の伝承 第4回 ものづくり企業における技術・技能伝承 第5回 ものづくりにおける加工の技術移転 第6回 ものづくりにおける海外への技術移転 第7回 管理技術と技術移転 第8回 技術移転と人材育成 第9回 技術移転と法務 技術移転と受入側の対応 第10回 技術移転事例() (繊維関連他) 第11回 討議 第12回 技術移転事例() (造船関係) 第13回 討議 第14回 技術移転事例() 第15回 課題(テスト)			
教科書・参考書等	山根八洲男監修「ものづくり技術・技能の伝承と海外展開」(日刊工業新聞社)及び講師作成のレジュメ 英語テキスト発刊中(2010年4月予定)			
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像(ビデオ/PC/その他画像資料)			
予習・復習への アドバイス	予習は必要ないが、新聞記事に多くの海外への移転企業の事例が掲載されるので、これらに留意してほしい。			
履修上の注意 受講条件等	私語禁止、質問歓迎、10回以上の出席が条件			
成績評価の基準等	講義出席率(30点)+課題(レポート+テスト)(70点)			
メッセージ	少子高齢化が進む我が国において、製造業(ものづくり)の熟練技術者から次世代を担う若手への技術・技能の伝承・移転は喫緊の課題である。一方、安価な労働者を求めて、発展途上国への日本企業の進出は、生き残りの観点からますます重要になっている。最近では、国内需要の限界から、市場の拡大を目的とする海外進出も増えてきた。技術経営で学ぶ技術戦略の中で、技術移転は企業の戦略の選択肢の一つである。製造業に就職する可能性のある学生諸君が、学生時代に技術移転論を学ぶことは、グローバルな視点からも、将来、必ず役立つと信ずる。時代にマッチした講義であり、積極的な受講を期待する。オムニバス方式であるが、企業経験豊富な講師が講義することも特徴である。			
その他	担当教員は、産学連携センターVBLオフィスにいる。場所： http://www.hiroshima-u.ac.jp/vbl/p_372fc3.html			